

プレスリリース

2019年度(第4回)「企業のエシカル通信簿」結果発表 対象は飲料メーカーとカフェチェーン全10社

～環境・人権・消費者・アニマルウェルフェア・持続可能な開発・社会・平和など7分野を詳しく調査～

エシカル消費への関心が高まる一方、企業のエシカルな取り組みに関する情報はまだまだ不足しているのが現状です※。「企業のエシカル通信簿」は消費者が買い物や投資、就職などの選択をする際にエシカルな選択をやすくするために役立つ情報を届けると共に、企業のエシカルな取り組みを促進することを目的として、2016年に調査を開始しました。

調査を行なっているのは、全国39のNGOが参画する、消費から持続可能な社会をつくる市民ネットワーク(事務局:認定NPO法人環境市民)。多様な分野を専門とするNGOが参画し、各自の各団体の専門性を生かし、環境・人権・アニマルウェルフェアなど7つの項目について調査票を作成、公開情報をもとにレイティングし、解説しています。

※京都府府民生活部消費生活安全センターが行なった調査によるとエシカル消費の阻害要因の第2位は「エシカル商品等の情報を得ることができないから」となっている。<http://www.pref.kyoto.jp/shohise/tyousa/documents/ethicalhoukoku.pdf>

第4回となる今回の調査は、多くの消費者が毎日のように利用し、プラゴミ問題等で対応が注目される飲料メーカー大手5社とカフェチェーン大手5社を対象としました。調査対象となった10社は以下の通り。

企業のエシカル通信簿 2019年度 調査対象企業		*【 】内は、本報告書内で使用する略称。
<飲料メーカー(5社)>		<カフェチェーン(5社)>
アサヒグループホールディングス株式会社【アサヒ】	株式会社コメダホールディングス【コメダ】	
株式会社伊藤園【伊藤園】	株式会社サンマルクホールディングス【サンマルク】	
キリンホールディングス株式会社【キリン】	スターバックスコーヒージャパン株式会社	【スターバックス】
サントリーホールディングス株式会社【サントリー】	タリーズコーヒージャパン株式会社【タリーズ】	
日本コカ・コーラ株式会社【コカ・コーラ】	株式会社ドトールコーヒー【ドトール】	
(参考)第1回(2016年)は食品業界とアパレル業界、第2回(2017年)はコンビニ業界と宅配業界、第3回(2018年)は家電と外食チェーン。		

なお、各社の総合結果は次ページの通り。今回、回答があったのは、アサヒ、キリン、サントリー、コメダ。その他は、回答がなかったため公開情報をもとに私たちが調べたものを最終調査結果としています。

詳しい調査結果、調査票、全体・分野別レーダーチャート、分野別コメントは以下のURLでご確認ください。

<https://cnrc.jp/works/business-ethical-rating/2019-result/>

調査報告書は数か月以内を目途に発行予定です(有料)。希望される方は事務局までご連絡ください。

評価は 10 段階、最高が 10 (表中)SD:持続可能な社会・開発／動物:アニマルウェルフェア

飲料メーカー

	SD	環境	消費者	人権 労働	社会 社会貢献	平和 非暴力	動物
アサヒ	9	5	8	7	7	1	1
伊藤園	4	3	4	4	4	1	2
キリン	5	5	6	7	7	1	1
サントリー	9	6	7	9	8	1	1
コカ・コーラ	2	3	4	6	3	1	1

カフェチェーン

	SD	環境	消費者	人権 労働	社会 社会貢献	平和 非暴力	動物
コメダ	3	2	5	6	5	1	1
サンマルク	1	1	1	1	1	1	1
スターバックス	2	2	4	6	3	1	2
タリーズ	1	1	1	3	2	1	1
ドトール	1	1	2	1	3	1	1

* エクセルシオールカフェは、(株)ドトールコーヒーが展開するカフェチェーンブランドです。



消費から
持続可能な社会をつくる
市民ネットワーク

消費から持続可能な社会をつくる市民ネットワーク事務局
〒604-0934 京都市中京区麩屋町通二条下る 第二ふや町ビル 206
認定 NPO 法人 環境市民内 担当：下村
電話: 075-211-3521 (FAX: 3531) [時間 10:00-18:00]
WEB: <http://cnrc.jp> Mail: ssrc@kankyoshimin.org